

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	公民館コミュニティ活動事業（政策）								
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	社会教育法、市地区公民館運営規則
			10	04	02	16	政策経費		
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 市民活動の支援						市民協働	共催	
	I コミュニティづくり						担当課係等	霞ヶ浦中地区公民館	
①コミュニティづくりの推進						学習担当			
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部（D0）

【目的】 行政が考え、準備したものに市民が参加するという従来の方式ではなく、地域の課題や財産をキーワードに、市民自らが企画提案した特色あるコミュニティ事業を市民と行政（中学校区ごとの地区公民館）が市民協働の関係で事業展開していく中で、市民のまちづくりへの関心と市政への参加意識の向上を図るとともに、地域づくりの担い手の発掘・育成の機会の創出、地域コミュニティの活性化を目指す。	【関連事業】 公民館講座事業、歴史博物館運営事業、生涯学習市民協働事業
【期待される効果】 市民のまちづくりへの関心と市政への参加意識の向上。地域づくりの担い手の発掘・育成。地域コミュニティの活性化。市民協働型行政運営のモデル化。	【対象者】 原則各中学校区単位の地区公民館内の地区住民

【全体概要】 霞ヶ浦中地区公民館（下大津支館・美並支館・牛渡支館・佐賀支館・安飾支館・志土庫支館の6支館）、千代田中地区公民館及び下稲吉中地区公民館の各種事業に係る費用。幼児から高齢者まで幅広い年齢層の住民が交流・参加できる身近な事業を提供することで、地域住民と協力しながら学習や意識の啓発を行い、親睦と融和を進め、更には地域振興を図る。	【特記事項】 28年度からの新規事業。28年度は三つの地区公民館のコミュニティ事業を1つの事業としていたが、29年度からはそれぞれの公民館（3館）コミュニティ事業に分けた。このシートの29年度の記載については、そのうちの霞ヶ浦中地区公民館のコミュニティ事業内容、予算、指標、方向性を記載。
---	--

【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】	【平成29年度 事業内容】
	霞ヶ浦（球技大会、ハイキング、歩く会桜まつり、新春の集い、地域活性化講座）千代田（交流サロン／ちよだ広場、落語鑑賞会、研修会）、下稲吉（交流サロン／おしゃべりカフェ、みんなの夏祭り防災講演会、いなよし学習広場）	霞ヶ浦中地区公民館のみ記載 球技大会、移動講座、ハイキング、歩く会など6支館共通の事業に加え、桜まつり、地域活性化講座、みんなで防災マップを作ろう講座、クリスマスを歌おうなど、支館単独の事業にも取り組む。

■事業費

		H27年度		H28年度		H29年度			
財源	国庫支出金	0		0		0			
	県支出金	0		0		0			
	自主財源	0		5,635		4,990			
歳入計（千円）		0		5,635		4,990			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）			
	08 報償費	0		1,005		1,089			
	09 旅費	0		19		37			
	11 需用費	0		922		1,119			
	12 役務費	0		282		204			
	14 使用料及び賃借料	0		3,316		2,184			
	18 備品購入費	0		91		357			
	歳出計（千円）（A）		0		5,635		4,990		
（参考）		当初予算額	0	当初予算額	7,236	伸び率(%)	-11.4	予	-31.0
職員人工数		0.00		0.90		0.90			
職員人件費（B）		0		7,082		6,840			
総事業費（A）＋（B）		0		12,717		11,830			

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	実施地区公民館数	回	目標	3.00	3.00	3.00
	※市の方針により、3つの地区公民館が置かれることになり、現段階で数が変わることは考えられないため、29年度からは活動指標を下に変更。		実績	0.00	3.00	0.00
	会議の開催回数		目標	0.00	0.00	24.00
	コミュニティ推進会議の開催回数（霞ヶ浦中地区公民館 4回×6支館）		実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	年間参加者人数	人	目標	0.00	7,500.00	3,500.00
	各種事業への参加延べ人数（H28は3つの地区公民館の合計。H29は霞ヶ浦中地区公民館のみ）		実績	0.00	7,328.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コミュニティ活動は市民と行政が一体となって行うべきであり、その観点からすると行政からの一定の税金投入は妥当性がある。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民と行政それぞれの意識改革により成果を向上できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 コミュニティ活動の場がなくなれば、地域の特性や連帯感は希薄化し、社会問題などにも発展する可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 平成28年4月から霞ヶ浦地区における6地区の公民館は統合されて「霞ヶ浦中地区公民館」1つとなった。また、千代田地区には、千代田中地区公民館及び下稲吉中地区公民館の2つが新たに設置された。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 千代田、下稲吉では28年度からの新規事業であり、霞ヶ浦でも事業の再検証に取り組む時期が来ていることから、事業の形が決まるまでのここ数年間は事業費の変動があると考えられる。最少の職員数、市民のボランティア的活動で事業展開しているため人件費の削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地区公民館活動であるため、その地区の住民しか参加できない事業が多い。地区コミュニティという観点から地区限定活動も大切ではあるが、市全域が合同で取り組めるような事業展開を検討する必要がある。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	地域の課題や財産をキーワードに、地区公民館を主体とした市民協働型のコミュニティ活動を通して、魅力ある地域づくりを推進するとともに、地域の担い手の発掘・育成を図る。
<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続（<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持）</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民協働型の事業展開を目指して、28年度から全市的に公民館コミュニティ事業がスタートとなったが、コミュニティ推進員と職員の役割分担が不明確であることから、推進員のモチベーションを下げない範囲で、両者が協議、検討していく。</p>		
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田泰寛 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続（<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持）</p> <p>担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 新しいスタイルの確立との考えも理解できますが、実質的には大きな変化ではないことを共通認識すべきではないでしょうか。名称にこだわらずに、個別の事業の中身について議論することが大事ではないかと思えます。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度									
事務事業名	霞ヶ浦中地区公民館講座事業（政策）									
事業類型	イベント・行事・各種講座教室等									
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	社会教育法、公民館設置及び管理等に関する 条例施行規則	
			10	04	02	17				
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象		
	(1) 市民活動の支援						市民協働	行政の関与		
	1 コミュニティづくり						担当課係等	霞ヶ浦中地区公民館		
③コミュニティ活動の推進						学習担当				
事業期間	継続（年度～）									

現状把握の部（D0）

【目的】 市民の多種多様なニーズに応じた講座、催しを開講し、学びたい、楽しみたい、発表したいなどの自己実現の場を提供するとともに、学ぶことをとおして、生きがいづくり、仲間づくりなど、その後の人生が心豊かな充実したものになるよう支援していく。	【関連事業】 千代田中・下稻吉中地区公民館事業、文化芸術振興事業、生涯学習市民協働事業	
【期待される効果】 生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの拡充など	【対象者】 全市民（講座受講者）	
【全体概要】 霞ヶ浦中地区公民館講座の企画及び開講	【特記事項】 文化協会加盟団体数及び加盟者数が減少していることから、当初からサークル化を目指した講座を中心に計画、実施していく。平成29年度からそれに関連する指標を追加。	
【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】	【平成29年度 事業内容】
	教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。修了した講座の活動内容を「ふれあい生涯学習フェア」などの場で発表する。最終的には文化団体や同好会、サークル化などを旨とする。	市民のニーズに応じた各種講座を開講する。講座終了後はその活動の成果を「ふれあい生涯学習フェア」など、発表の場を設けるとともに、講座受講生による同好会化、サークル化の支援を行う。

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	693	1,131
	歳入計（千円）	0	693	1,131
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	0	608	648
	11 需用費	0	72	128
	14 使用料及び賃借料	0	13	355
歳出計（千円）（A）		0	693	1,131
（参考）		当初予算額	当初予算額	
		0	790	伸び率(%) 決 63.20 予 43.16
職員人工数		0.00	0.75	0.75
職員人件費（B）		0	5,901	5,700
総事業費（A）＋（B）		0	6,594	6,831

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	講座の開設（視聴覚講座は含まず）	講座の開設コマ数→ほかの地区公民館講座事業と統一させるため29年度から講座数に変更（前期、後期で同じ内容の講座を開講した場合は2講座と数える）	コマ→講座（29年度）	目標		0.00	50.00	19.00
				実績		0.00	104.00	0.00
	当初からサークル化を目指した講座数 ※29年度からの新たな目標	講座	目標		0.00	0.00	8.00	
			実績		0.00	5.00	0.00	
成果指標	講座の年間受講率	講座の募集定員に対する受講者の割合	%	目標		0.00	75.00	75.00
				実績		0.00	74.45	0.00
	講座終了後、サークル化した講座数 ※29年度からの新たな目標	講座	目標		0.00	0.00	3.00	
			実績		0.00	5.00	0.00	

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画より
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の多様な学習機会や地域住民の交流の場の提供などによる社会教育の推進のため、そのきっかけづくりとして行政が生涯学習として捉えた講座を実施していくことは妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 時代に即した多種多様な講座の開設
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 社会教育の希薄化や社会教育施設（公民館など）の利用者の減少
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 教育部門以外にも、保健・福祉・農林・観光など他部署においても講座的な同様の事業を実施しているため、他部署との連携の可能性はある。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 平成28年度から3つの中学校単位での地区公民館活動を開始しており、それぞれにおいて講座を開講しているため、事業費及び人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 講師謝礼は受講生（受益者）の受講料で負担しているため料金的には公平・公正であり、また、講座の内容については幅広い方へ対応できるよう多種多様な講座を検討していく。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	講座の修了者が、その後に自主的なサークル・同好会活動を行っていきことができるように、講座内容の改善や自主活動の場のサポートなどを実施していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 文化協会加盟団体、会員数が減少していることから、当初から講座終了後サークル化を目指した講座を中心に計画、開講する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：飯田泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 市民ニーズのとらえ方として、各講座の参加者からの声を拾い上げて見てはいかがでしょうか。受講者は、マナヴィの中から受講希望を選択するわけですので、講座のテーマというのは大変重要だと思います。		